

岡山県公報

発行
岡山県



目次

担当課（室）

【人事委員会】

○ 令和七年度岡山県職員A採用試験（アピ
ール型）の実施

人事委員会

○ 令和七年度岡山県職員A採用試験（技術
・春）の実施

”

【警察本部】

○ 令和七年度第一回岡山県警察官採用試験
の実施

警務課

目次

担当課（室）

令和7年3月1日 岡山県公報 号外

◎岡山県人事委員会公示第三号

令和七年度岡山県職員A採用試験（アピール型）を次のとおり実施する。

令和七年三月一日

岡山県人事委員会委員長 安 田 寛

一 試験区分、採用予定者数並びに主な勤務先及び職務内容

試験区分	採用予定者数	主な勤務先及び職務内容
行政	五十名程度	知事部局（本庁、県民局等）、教育委員会（教育庁、県立学校等）等において、一般行政事務に従事する。

二 受験資格

1 次のいずれかに該当する者

- 平成十一年四月二日から平成十六年四月一日までに生まれた者
- 平成十六年四月二日以降に生まれた者で、次に掲げるもの

ア 学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）による大学（短期大学を除く。）を卒業した者又は令和八年三月三十一日までに卒業見込みの者

イ 岡山県人事委員会がアに該当する者と同等の資格があると認める者

2 次のいずれかに該当する者は、1に該当する者であっても受験することができない。

- (1) 日本の国籍を有しない者
- (2) 地方公務員法（昭和二十五年法律第二百六十一号）第十六条各号のいずれかに該当する者

(3) 民法の一部を改正する法律（平成十一年法律第四百九号）による改正前の民法（明治二十九年法律第八十九号）の規定による準禁治産の宣告を受けている者のうち心神耗弱を原因とするもの以外の者

三 試験の方法

試験は、第一次試験及び第二次試験とし、第二次試験は、第一次試験の合格者について行う。

1 第一次試験

(1) 基礎能力試験

言語的理解力、数量的処理能力及び論理的思考力について択一式による筆記試験を行う。

(2) アピールシート試験

積極性、調整力・コミュニケーション能力、意欲、表現力・国語力等について記述試験を行う。

(3) 適性検査

性格、心理等について検査を行う。

2 第二次試験

口述試験

グループワーク、第一次個別面接及び第二次個別面接により行う。

四 試験の期日及び試験会場

1 第一次試験

試験の期日	試験会場
-------	------

令和7年3月1日 岡山県公報 号外

令和七年四月二十日（日曜日）		岡山会場	
東京会場		岡山市北区津島中三丁目一番一号 岡山大学工学部一号館	
都道府県会館		岡山市中区古京町一丁目七番三六号 岡山県庁分庁舎	
東京都千代田区平河町二丁目六番三号		都道府県会館	

2 第二次試験

試験の期日	試験会場
令和七年六月三日（火曜日）から同月十三日（金曜日）までのうち指定する日（第一次試験の合格者に対して、岡山県人事委員会事務局のホームページにて指定する。）	岡山市中区古京町一丁目七番三六号 岡山県庁分庁舎

五 合格者の発表

岡山県人事委員会事務局の掲示板に次のとおり掲示し、岡山県人事委員会事務局のホームページにも掲載するとともに、第二次試験の合格者に対しては、直接通知する。

区分	発表の期日	内容
第一次試験	令和七年五月十四日（水曜日）	合格者の受験番号
第二次試験	令和七年六月中旬	合格者の受験番号

六 採用及び採用後の給与

1 採用

- (1) 第二次試験の合格者は、合格決定後直ちに、成績順に採用候補者名簿に登録する。
- (2) 採用者は、任命権者からの請求に応じて、岡山県人事委員会が採用候補者名簿の登載順に提示した者の中から、任命権者が決定する。なお、採用時期は、原則として、令和八年四月一日とする。

2 給与

- (1) 令和七年四月採用者（新卒者）の給料月額は、二三二、一〇〇円である。
- (2) 諸手当として、扶養手当、通勤手当、住居手当、期末手当、勤勉手当等が支給される。

七 受験手続

試験を受けようとする者は、令和七年三月一日（土曜日）から同月三十一日（月曜日）までの期間中、岡山県電子申請サービスにより受験申込みを行うこと。

八 その他

- 1 試験の実施方法その他試験に関する事項については、受験案内に記載する。
- 2 受験案内は、岡山県人事委員会事務局のホームページからダウンロードすることができる。
- 3 受験資格の有無及び受験申込みの入力事項を確認するため、必要に応じて、証明書等の提出を求めることがある。
- 4 六1(1)の採用候補者名簿に記載された場合であっても、受験申込みの入力事項等に虚偽のものと認められるときは、採用候補者名簿から当該者を削除する。

令和7年3月1日 岡山県公報 号外

◎岡山県人事委員会公示第四号

令和七年度岡山県職員A採用試験（技術・春）を次のとおり実施する。

令和七年三月一日

岡山県人事委員会委員長 安 田 寛

一 試験区分、採用予定者数並びに主な勤務先及び職務内容

試験区分	採用予定者数	主 な 勤 務 先 及 び 職 務 内 容
環 境	若干名	知事部局（本庁、県民局等）において、環境等に関する専門的業務に従事する。
土 木	十四名程度	知事部局（本庁、県民局等）において、道路、河川、港湾、都市計画等の事業に関する企画、設計、施工管理等の専門的業務に従事する。
農 業 土 木	七名程度	知事部局（本庁、県民局等）において、農地農村整備事業に関する企画、設計、施工管理等の専門的業務に従事する。
畜 産	五名程度	知事部局（本庁、県民局等）において、家畜及び畜産物の生産振興、畜産に関する知識技術の普及指導等の専門的業務に従事する。
林 業	六名程度	知事部局（本庁、県民局等）において、治山事業等に関する企画、設計及び施工管理、林業に関する知識技術の普及指導等の専門的業務に従事する。
建 築	若干名	知事部局（本庁、県民局等）において、建築、住宅、都市計画等の事業に関する企画、設計、施工管理等の専門的業務に従事する。
電 気	若干名	知事部局（本庁、出先事務所等）又は企業局（本局、発電総合管理事務所、工業用水道事務所等）において、電気設備、通信設備等に関する企画、設計及び施工管理並びに電気設備、通信設備等の運転、保守管理等の専門的業務に従事する。なお、勤務場所によっては、深夜勤務、交替制勤務等の変則的な勤務を伴う場合がある。

二 受験資格

1 次のいずれかに該当する者

(1) 昭和六十年四月二日から平成十六年四月一日までに生まれた者

(2) 平成十六年四月二日以降に生まれた者で、次に掲げるもの

ア 学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）による大学（短期大学を除く。）を卒業した者又は令和八年三月三十一日までに卒業見込みの者

- イ 岡山県人事委員会がアに該当する者と同等の資格があると認める者
- 2 次のいずれかに該当する者は、1に該当する者であっても受験することができない。
- (1) 日本の国籍を有しない者
- (2) 地方公務員法（昭和二十五年法律第二百六十一号）第十六条各号のいずれかに該当する者
- (3) 民法の一部を改正する法律（平成十一年法律第四十九号）による改正前の民法（明治二十九年法律第八十九号）の規定による準禁治産の宣告を受けている者のうち心神耗弱を原因とするもの以外の者

三 試験の方法

試験は、第一次試験及び第二次試験とし、第二次試験は、第一次試験の合格者について行う。

1 第一次試験

(1) 基礎能力検査

言語的理解力、数的処理能力及び論理的思考力について択一式による試験を行う。

(2) 性格検査

性格、心理等について検査を行う。

2 第二次試験

(1) 択一式の専門試験（試験区分（環境、土木、建築、電気））

試験区分ごとに、それぞれ次の出題分野から択一式による筆記試験を行う。

試験区分	出題分野
環境	数学・物理・情報、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学等
土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、土木計画（都市計画を含む。）、材料・施工等
建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画（都市計画、建築法規を含む。）、建築設備、建築施工等
電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学等

(2) 記述式の専門試験（試験区分（農業土木、畜産、林業））

試験区分ごとに、それぞれ次の出題分野から専門性、表現力、理解力、構成力、企画力等について専門用語説明試験及び論文試験を行う。

試験区分	出題分野
農業土木	農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農学一般等

令和7年3月1日 岡山県公報 号外

畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般等
林業	森林政策・森林経営学、造林学（森林生態学及び森林保護学を含む。）、林業工学、林産一般、砂防工学等

四

- (3) 口述試験
 第一次個別面接及び第二次個別面接により行う。
 試験の期日及び試験会場

1 第一次試験

試験の期日	試験会場	
令和七年四月三日（木曜日）から同月十七日（木曜日）までのうち受験者が選択する日	基礎能力検査	テストセンター（リアル会場又はオンライン会場）のうち受験者が選択する会場
性格検査	自宅等（電子計算機等（インターネット）を利用することができるものであって、岡山県人事委員会が指定するものに限る。）を使用することができる場所	

2 第二次試験

試験の期日	試験会場
令和七年五月十日（土曜日）から同月二十二日（木曜日）までのうち指定する日（第一次試験の合格者に対して、岡山県人事委員会事務局のホームページにて指定する。）	岡山市中区古京町一丁目七番三六号 岡山県庁分庁舎

五 合格者の発表

岡山県人事委員会事務局の掲示板に次のとおり掲示し、岡山県人事委員会事務局のホームページにも掲載するとともに、第二次試験の合格者に対しては、直接通知する。

区分	発表の期日	内容
第一次試験	令和七年四月二十五日（金曜日）	合格者の受験番号
第二次試験	令和七年六月上旬	合格者の受験番号

六 採用及び採用後の給与

1 採用

- (1) 第二次試験の合格者は、合格決定後直ちに、試験区分ごとに成績順に採用候補者名簿に登載する。

(2) 採用者は、任命権者からの請求に応じて、岡山県人事委員会が採用候補者名簿の登載順に提示した者の中から、任命権者が決定する。なお、採用時期は、原則として、令和八年四月一日とする。

2 給与

(3) 採用候補者名簿の有効期間は、原則として、名簿登載の日から一年とする。

(1) 令和七年四月採用者（大学新卒者）の給料月額は、二三二、一〇〇円である。なお、職務経歴等のある場合は、この額に一定の基準で算出された額が加算される。

(2) 諸手当として、扶養手当、通勤手当、住居手当、期末手当、勤勉手当等が支給される。

七 受験手続

試験を受けようとする者は、令和七年三月一日（土曜日）から同月二十一日（金曜日）までの期間中、岡山県電子申請サービスにより受験申込みを行うこと。

八 その他

1 試験の実施方法その他試験に関する事項については、受験案内に記載する。

2 受験案内は、岡山県人事委員会事務局のホームページからダウンロードすることができる。

3 受験資格の有無及び受験申込みの入力事項を確認するため、必要に応じて、証明書等の提出を求められることがある。

4 六1(1)の採用候補者名簿に登載された場合であっても、受験申込みの入力事項等に虚偽のものがあると認められるときは、採用候補者名簿から当該者を削除する。

令和7年3月1日 岡山県公報 号外

◎岡山県警察告示第七号

令和七年度第一回岡山県警察官採用試験を次のとおり実施する。

令和七年三月一日

岡山県警察本部長 工 藤 陽 代

一 試験区分、採用予定者数並びに主な勤務先及び職務内容

試験区分	採用予定者数				主な勤務先及び職務内容
	男性	女性	男性	女性	
警察官A (令和八年四月採用)	二十一	七			警察本部、警察署等において、個人の生命、身体及び財産の保護に当たり、犯罪の予防、鎮圧及び捜査、被疑者の逮捕、交通の取締りその他公共の安全と秩序を維持する職務に従事する。
警察官B (令和七年十月採用)	八	二			
警察官A (アピール型) (令和八年四月採用)	四				

二 受験資格

1 学歴、年齢及び性別

試験区分	受験資格
警察官A	<p>平成四年四月二日以降に生まれた者で、次のいずれかに該当するもの</p> <p>(1) 学校教育法(昭和二十二年法律第二十六号)による大学(短期大学を除く。)を卒業した者又は令和八年三月三十一日までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 岡山県警察本部が、(1)に該当する者と同等の資格があると認める者</p>
警察官B	<p>平成四年四月二日から平成十九年四月一日までに生まれた者。ただし、次のいずれかに該当する者は、受験することができない。</p> <p>(1) 学校教育法による大学(短期大学を除く。)を卒業した者又は令和八年三月三十一日までに卒業見込みの者(岡山県警察本部が、同等の資格があると認める者を含む。)</p> <p>(2) 学校教育法による高等学校を令和七年十月一日から令和八年三月三十一日までに卒業見込みの者(岡山県警察本部が、同等の資格があると認める者を含む。)</p>
警察官A (アピール型)	<p>平成二年四月二日以降に生まれた者で、次のいずれかに該当するもの</p> <p>(1) 学校教育法による大学(短期大学を除く。)を卒業した者又は令和八年三月三十一日までに卒業見込みの者</p>

試験区分		警察官A		試験区分		種目		内容									
資格加算		身体検査1		体力試験		適性検査		論文試験		教養試験							
<table border="1"> <tr> <td>剣道</td> <td>三段以上（全日本剣道連盟の段位に限る。）</td> </tr> <tr> <td>柔道</td> <td>二段以上（講道館の段位に限る。）</td> </tr> <tr> <td>分野</td> <td>資格・免許・検定・経歴</td> </tr> </table>		剣道	三段以上（全日本剣道連盟の段位に限る。）	柔道	二段以上（講道館の段位に限る。）	分野	資格・免許・検定・経歴	<p>指及び関節運動について職務遂行に支障がないかどうかの検査を行う。</p>		<p>反復横跳び、上体起こし、握力及び二〇メートルシヤトルランを行う。</p>		<p>性格、心理等について検査を行う。</p>		<p>表現力、理解力、構成力、企画力等について記述試験を行う。</p>		<p>大学卒業程度の一般的知識及び知能について択一式による筆記試験を行う。</p>	
剣道	三段以上（全日本剣道連盟の段位に限る。）																
柔道	二段以上（講道館の段位に限る。）																
分野	資格・免許・検定・経歴																

- 1 第一次試験
- 2 次のいずれかに該当する者は、1に該当する者であっても受験することができない。
- 3 試験の方法
- 試験は、第一次試験及び第二次試験とし、第二次試験は、第一次試験の合格者について行う。
- (1) 日本の国籍を有しない者
 - (2) 地方公務員法（昭和二十五年法律第二百六十一号）第十六条各号のいずれかに該当する者
 - (3) 民法の一部を改正する法律（平成十一年法律第四百十九号）による改正前の民法（明治二十九年法律第八十九号）の規定による準禁治産の宣告を受けている者のうち心神耗弱を原因とするもの以外の者

(2) 岡山県警察本部が、(1)に該当する者と同等の資格があると認める者

スポーツ歴	情報処理	財務	韓国語	中国語	英語
<p>令和七年三月三十一日から遡り五年以内に全国規模で行われるスポーツ大会（中学校卒業以降の大会で地区予選を経たものに限る。）に選手として出場した経験（選手登録されたことを要する。監督、コーチ及びマネージャー等は除く。）。ただし、対象となるスポーツ大会及びスポーツは次のとおりとする。</p> <p>(1) スポーツ大会</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本選手権大会、国民スポーツ大会（国民体育大会を含む）、全日本学生選手権、全国高等学校総合体育大会、全国高等学校野球選手権大会、全国高等学校サッカー選手権大会又はこれら 	<p>情報処理技術者試験（経済産業省認定の国家資格）合格者</p>	<p>日商簿記検定試験二級以上</p>	<p>ハングル能力検定試験準二級以上 韓国語能力試験四級以上</p>	<p>中国語検定試験三級以上 漢語水平考試四級以上かつ一八〇点以上（平成二十一年十二月十三日以前に実施された試験にあつては、三級以上） TECC四〇〇点以上</p>	<p>実用英語技能検定（英検）二級以上 TOEIC四七〇点以上（団体特別受験制度（IPテスト）によるものを除く。） TOEIC Bridge七八点以上（団体特別受験制度（IPテスト）によるものを除く。） TOEFL（PBT）四六〇点以上 TOEFL（CBT）一四〇点以上 TOEFL（iBT）四八点以上 国際連合公用語英語検定試験C級以上</p>

令和7年3月1日 岡山県公報 号外

					警察官B	
資格加 点	身体検査1	体力試験	適性検査	作文試験	教養試験	
分野	七1の受験申込書の提出の際に証明書類の写し又は原本を添えて申請のあった次に掲げる資格・免許・検定・経歴について、警察業務に資する専門的技術及び知識の確認を行う。ただし、資格・免許・検定について証明書類の写しを提出した場合には当該証明書類の原本の確認を行う。	指及び関節運動について職務遂行に支障がないかどうかの検査を行う。	反復横跳び、上体起こし、握力及び二〇メートルシヤトルランを行う。	性格、心理等について検査を行う。	表現力、理解力、構成力、企画力等について記述試験を行う。	高等学校卒業程度の一般的知識及び知能について択一式による筆記試験を行う。
資格・免許・検定・経歴	<p>に準ずると岡山県警察本部が認める大会</p> <p>(2) スポーツ</p> <p>ア 日本スポーツ協会及び日本オリンピック委員会のいずれにも加盟（正加盟、準加盟、承認）している競技団体の競技であり、かつ、日本選手権大会、国民スポーツ大会（国民体育大会を含む）、全日本学生選手権又は全国高等学校総合体育大会のうちいずれか一つ以上の大会で実施される競技</p> <p>イ アに該当しないが、日本選手権大会、国民スポーツ大会（国民体育大会を含む）、全日本学生選手権又は全国高等学校総合体育大会のうちいずれかの大会で実施される武道競技</p>					

令和7年3月1日 岡山県公報 号外

柔道	剣道	英語	中国語	韓国語	財務	情報処理	スポーツ歴
二段以上（講道館の段位に限る。）	三段以上（全日本剣道連盟の段位に限る。）	実用英語技能検定（英検）二級以上 TOEIC四七〇点以上（団体特別受験制度（IPテスト）によるものを除く。） TOEIC Bridg e七八点以上（団体特別受験制度（IPテスト）によるものを除く。） TOEFL（PBT）四六〇点以上 TOEFL（CBT）一四〇点以上 TOEFL（iBT）四八点以上 国際連合公用語英語検定試験C級以上	中国語検定試験三級以上 漢語水平考試四級以上かつ一八〇点以上（平成二十一年十二月十三日以前に実施された試験にあつては、三級以上） TECC四〇〇点以上	ハングル能力検定試験準二級以上 韓国語能力試験四級以上	日商簿記検定試験二級以上	情報処理技術者試験（経済産業省認定の国家資格）合格者	令和七年三月三十一日から遡り五年以内に全国規模で行われるスポーツ大会（中学校卒業以降の大会で地区予選を経たものに限る。）に選手として出場した経験（選手登録されたことを要する。監督、コーチ及びマネージャー等は除く。）。ただし、対象となるスポーツ大会及びスポーツは次のとおりとする。 (1) スポーツ大会 日本選手権大会、国民スポー

令和7年3月1日 岡山県公報 号外

	警察官A (Aピー ル型)				
資格加点	身体検査1	体力試験	適性検査	Aピール シート試験	基礎能力試 験
<p>七1の受験申込書の提出の際に証明書類の写し又は 原本を添えて申請のあった次に掲げる資格・免許・検</p>	<p>指及び関節運動について職務遂行に支障がないかど うかの検査を行う。</p>	<p>反復横跳び、上体起こし、握力及び二〇メートルシ ヤトルランを行う。</p>	<p>性格、心理等について検査を行う。</p>	<p>積極性、経験の有用性、調整力、コミュニケーション 能力、意欲、表現力・国語力等について記述試験を 行う。</p>	<p>言語的理解力、数量的処理能力及び論理的思考力に ついて択一式による筆記試験を行う。</p> <p>アに該当しないが、日本選 手権大会、国民スポーツ大会 (国民体育大会を含む)、全 日本学生選手権又は全国高等 学校総合体育大会のうちい れかの大会で実施される武 道 競技</p> <p>イ アに該当しないが、日本選 手権大会、国民スポーツ大会 (国民体育大会を含む)、全 日本学生選手権又は全国高等 学校総合体育大会のうちい れかの大会で実施される 競技</p> <p>ア 日本スポーツ協会及び日本 オリンピック委員会のい ずれにも加盟(正加盟、準 加盟、承認)している競 技団体の競技であり、 かつ、日本選手権大会、 国民スポーツ大会(国民 体育大会を含む)、全 日本学生選手権又は全 国高等学校総合体育 大会のうちいずれか 一つの大会で実施さ れる大会</p> <p>(2) スポーツ</p> <p>ア 日本学生選手権、全 国高等学校総合体 育大会、全国高等学 校サッカー選手権大 会又はこれらに準ず ると岡山県警察本部 が認める大会</p>

定・経歴について、警察業務に資する専門的技能及び知識の確認を行う。ただし、資格・免許・検定について証明書類の写しを提出した場合には当該証明書類の原本の確認を行う。

分野	柔道	剣道	英語	中国語	韓国語	財務	情報処理	スポーツ歴
資格・免許・検定・経歴	二段以上（講道館の段位に限る。）	三段以上（全日本剣道連盟の段位に限る。）	実用英語技能検定（英検）二級以上 TOEIC 四七〇点以上（団体特別受験制度（IPテスト）によるものを除く。） TOEIC Bridge 七八点以上（団体特別受験制度（IPテスト）によるものを除く。） TOEFL (PBT) 四六〇点以上 TOEFL (CBT) 一四〇点以上 TOEFL (iBT) 四八点以上 国際連合公用語英語検定試験C級以上	中国語検定試験三級以上 漢語水平考試四級以上かつ一八〇点以上（平成二十一年十二月十三日以前に実施された試験にあっては、三級以上） TECC 四〇〇点以上	ハングル能力検定試験準二級以上 韓国語能力試験四級以上	日商簿記検定試験二級以上	情報処理技術者試験（経済産業省認定の国家資格）合格者	令和七年三月三十一日から遡り五年以内に全国規模で行われるスポーツ大会（中学校卒業以降の大会で地区予選を経たものに限る。）に選手として出場した経歴（選手登録された

色覚	視力	項目
職務遂行に支障のないこと。	両眼とも裸眼視力が〇・六以上又は矯正視力が一・〇以上	基準

2 第二次試験

(1) 口述試験
 集団面接及び個別面接により行う。

(2) 身体検査²
 所定の身体検査書の提出により、職務遂行に必要な身体状態の検査を行う。検査費用は、受験者の負担とする。

検

	<p>ことを要する。監督、コーチ及びマネージャー等は除く。ただし、対象となるスポーツ大会及びスポーツは次のとおりとする。</p> <p>(1) スポーツ大会 日本選手権大会、国民スポーツ大会（国民体育大会を含む。）、全日本学生選手権、全国高等学校総合体育大会、全国高等学校野球選手権大会、全国高等学校サッカー選手権大会又はこれらに準ずると岡山県警察本部が認める大会</p> <p>(2) スポーツ ア 日本スポーツ協会及び日本オリンピック委員会のいずれにも加盟（正加盟、準加盟、承認）している競技団体の競技であり、かつ、日本選手権大会、国民スポーツ大会（国民体育大会を含む。）、全日本学生選手権又は全国高等学校総合体育大会のうちいずれか一つ以上の大会で実施される競技</p> <p>イ アに該当しないが、日本選手権大会、国民スポーツ大会（国民体育大会を含む。）、全日本学生選手権又は全国高等学校総合体育大会のうちいずれかの大会で実施される武道競技</p>

令和7年3月1日 岡山県公報 号外

聴力	職務遂行に支障のないこと。
精密検査	職務遂行に支障のない身体状態であること。

四 試験の期日及び試験会場

1 第一次試験

- (1) 警察官A（アピール型を除く。）及び警察官B
 ア 教養試験、論文試験又は作文試験、適性検査及び資格加

試験の期日	試験会場
令和七年五月十一日（日曜日）	岡山市北区津島中三丁目一番一号 岡山大学文・法・経済学部講義棟 岡山市北区津島中二丁目一番一号 岡山大学一般教育棟

イ 体力試験及び身体検査1

試験の期日	試験会場
令和七年五月三日（土曜日）から同月六日（火曜日）までのうち一日（受験申込者に対して、直接通知する。）	岡山市北区玉柏二七五三 岡山県警察学校

(2) 警察官A（アピール型）

基礎能力試験、アピールシート試験、適性検査、体力試験、身体検査1及び資格加

試験の期日	試験会場
令和七年四月二十日（日曜日）	岡山市北区玉柏二七五三 岡山県警察学校

2 第二次試験（口述試験及び身体検査2）

試験の期日	試験会場
令和七年六月二十八日（土曜日）から同年七月三日（木曜日）のうち一日（第一次試験の合格者に対して、直接通知する。）	岡山市中区古京町一丁目七番三六号 岡山県庁分庁舎

五 合格者の発表

令和7年3月1日 岡山県公報 号外

岡山県警察本部の掲示板に次のとおり掲示し、岡山県警察ホームページにも掲載するとともに、合格者に対しては、直接通知する。

区分	発表の期日	内容
第一次試験	令和七年五月二十三日（金曜日）	合格者の受験番号
第二次試験	令和七年七月十一日（金曜日）	合格者の受験番号

六 採用及び採用後の給与

1 採用

- (1) 第二次試験の合格者は、合格決定後直ちに、試験区分ごとに成績順に採用候補者名簿に登載する。
 - (2) 採用者は、採用候補者名簿に登載した者の中から、岡山県警察本部長が決定する。なお、採用時期は、原則として、試験区分が令和七年十月採用の者にあつては同月一日とし、試験区分が令和八年四月採用の者にあつては同月一日とする。
 - (3) 採用候補者名簿の有効期間は、原則として、名簿登載の日から一年とする。
- ### 2 給与
- (1) 令和七年四月採用者（新卒者）の給料月額は、次のとおりである。

試験区分	学歴	給料月額
警察官A	大学卒業者	二六一、六〇〇円
	短期大学卒業者	二四九、一〇〇円
警察官B	高等学校卒業者	二三二、三〇〇円

- (2) 諸手当として、扶養手当、通勤手当、住居手当、期末手当、勤勉手当等が支給される。

七 受験手続

- 1 試験を受けようとする者は、所定の受験申込書を岡山県警察本部警務部警務課（岡山市北区内山下二丁目四番六号）に提出すること。
- 2 受験申込書は、令和七年三月一日（土曜日）から同月三十一日（月曜日）までの期間中（土曜日、日曜日及び祝日を除く。）、八時三十分から十七時十五分まで、岡山県警察本部警務部警務課において受け付ける。なお、郵送の場合にあつては、同日までの消印のあるものは、受け付ける。
- 3 インターネットによる受験申込みは、令和七年三月一日（土曜日）から同月三十一日（月曜日）までの期間中、岡山県警電子申請サービスにおいて受け付ける。

八 その他

- 1 試験の実施方法その他試験に関する事項については、受験案内に記載する。
- 2 受験申込書及び受験案内は、岡山県警察本部警務部警務課、県内各警察署、岡山県人事委員会事務局等で交付する。また、受験案内は岡山県警察ホームページからもダウンロードすることができる。

- 3 受験資格の有無及び受験申込書の記載事項を確認するため、必要に応じて、証明書等の提出を求めることがある。
- 4 六1(1)の採用候補者名簿に記載された場合であっても、受験申込書等の提出書類の記載事項（インターネットによる受験申込みの場合の入力事項を含む。）に虚偽のものがあると認められるときは、採用候補者名簿から当該者を削除する。